

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録

日時：平成 30 年 6 月 3 日（日） 13：30～14：30

場所：茨城県立医療大学 大講義室（茨城県稲敷郡阿見長大字阿見 4469 - 2）

出席：（理事）大場、寺門、角田、小森、大内、笥、荒井、磯、武士、田口、若山、磯野、柘植、宇都木、
柴田、富永、細田、服部、齋藤、関、山倉

（監事）西、中山

欠席：藤木、渡辺

書記：開江（総務副部長）

平成 30 年 6 月 3 日 13 時 30 分、茨城県立医療大学内大講義室において、理事 21 名、監事 2 名出席の下、理事会を開催し下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、14 時 30 分散会した。

【 I 審議事項】

- 1.公益目的事業変更認定・変更届について →承認 (荒井総務部長)
 - ・平成 30 年度の事業計画を県へ提出したが、現行の公益目的事業の範疇では読み取れないものがあるとの指摘があった。
 - ・公益目的事業の変更認定もしくは変更届の申請を今後行っていく必要が生じてきている。
 - ・現行の公益目的事業を再確認し、各部局の事業との整合性を確認していく。
 - 各事業における整合性について疑問が生じた際は、局長集約の上、公益対策委員会にあげていただき、変更認定もしくは変更届けが必要か検討し申請を行っていく。
 - ・今回指摘を受けた部分については早々に修正をかけていく。
 - ・今回指摘を受けていない事業においても、次回監査（平成 31 年度）に向けて、各部局での確認、修正を行っていく。
- 2.IT 機器レンタル事業ミニ説明会開催について →担当部局へ差し戻し (富永制度対策部長)
 - ・福祉用具相談支援システムの相談案件で、IT 機器レンタル事業ミニ説明会を実施するか、について問い合わせがあった。
 - ・IT 機器レンタル事業により、会員への IT 機器を活用した支援に寄与していくため、福祉用具委員会を立ち上げていく必要があるかについて検討した。
 - ・福祉用具委員会を立ち上げた場合は、女性の積極的な参加という面でも主婦でも参加可能な委員会であればとの意見もでてくる。または、説明会を制度対策部で実施する単発の研修会とするか。
 - ・IT 機器研修会を OT 協会からの委託事業として受けている。県士会の研修会として 2 日間にわたり実施。
 - ・公益事業とはならないため、予算を算出した上で公益事業比率等をみながら検討して進めていく。
- 3.損害賠償保険、物損保険について →承認 (小森事務局長)
 - ・現在、県士会で加入している損害賠償保険の特約では、親族からの訴えに対する損害賠償の上限は 1 億円までとなっている。
 - ・他の事例において 2 億円、3 億円の損害賠償を請求されるケースも出てきているため、3 億円までの補償がつくものに変更していく。契約変更に伴う保険料は数千円程度の増額となる。
 - ・物損保険に関しては、学会等のイベントがある際にその都度手続きをしてきたが、通年で利用できる保険もでてきているとのこと。今後は通年の保険に加入していく方針。
- 4.茨城県作業療法士会、会員証シールについて →承認 (小森事務局長)
 - ・2014 年から、会費納入者には県士会会員カードに会員証シールを貼っていただいている。

- ・県士会会員カードは5年間の使用となっており（シールを貼る枠は5枠）、今年分でシールを貼る枠が無くなる会員がでてくる。
- ・シールを貼る枠が無くなった会員をリストアップし、カードを送付していく作業は困難な状況。
- ・今後は、日本作業療法士協会の会員カードに県士会シールを貼っていく形をとる。その後も協会の動きに合わせて随時変更していく。
- ・今年度、数回にわたり広報して県士会員に周知していき、来年度から実施していく。

4. 日本作業療法士協会からの人材育成研修会について →承認 (大場会長)
- ・昨年大場会長、細田理事が参加した人材育成研修会に本年度も2名が参加予定。
 - ・人員の選定については、MTDLP関係で選定していくことも検討していく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 平成30年度理事会等日程について (荒井総務部長)
- ・荒井総務部長より、平成30年度の理事会等の日程について報告があった。
 - ・第2回常任理事会（平成30年9月9日）と日本作業療法学会（平成30年9月7日～9日）の日付が同日となっているため、第2回常任理事会の日程を調整していく。また、第1回理事会においても地域ケア会議人材育成研修会と同日となっているため、日程を調整していく。
 - ・再調整後の日程については荒井総務部長より連絡を行う。
2. 平成30年度診療報酬改定・介護報酬改定研修会実施報告 (富永制度対策部長)
- ・日本作業療法士協会主催の研修会に富永理事が参加。その後の復命研修の形で3月25日に開催した。
 - ・参加者85名 託児所利用3名
 - ・研修後の質問事項についてはQ&A方式でhp上に掲載していたが、現在はhp復旧作業の関係で未掲載となっている。制度対策部のページにパスワードをかけたうえで掲載を再開していく。
3. 第11回茨城県作業療法学会の進捗状況について (宇都木学会部長)
- ・日本作業療法学会や関東甲信越ブロック大会との繋がりを持つために何ができるか検討していく。（茨城県作業療法学会の演題優秀者を派遣していく等々）第13回茨城県作業療法士会開催時には関東甲信越ブロック大会と同時開催となるため早めに考えておく必要がある。
 - ・年々、演題数が減少傾向にあり、原因対策について考えていく必要がある。対策としては認定作業療法士の取得のために有効に活用していくように啓発する等。
 - ・演題登録システムも日本作業療法学会に準じる形に変更していく方向。
4. 平成30年度地域ケア会議人材育成研修会開催案内 (細田イキキ地域づくり事業部長)
- ・平成30年7月8日開催予定
 - ・テーマ「地域ケア会議の実際と実践していくために必要な技能」
 - ・会場：アール医療福祉専門学校
 - ・定員：20名
 - ・認定バッジを作成して受講者修了者にお渡ししていくことを検討中。実際に地域ケア会議に参加した際に、研修終了者が一目でわかるような形を作っていく。
5. 決起集会の実施について (大場会長)
- ・県議会議員選挙につくば市から理学療法士1名が出馬予定。
 - ・日本作業療法士連盟杉原素子先生より決起集会の依頼があった。
 - ・会場は土浦で、日程については8月、9月、10月あたりで予定。
6. AR、VRでの認知症体験実施報告 (大場会長)

- ・AR、VR を利用した認知症体験会を高校生対象に開催し非常に好感触であった。今後も継続して展開していく。

7. 次回第1回常任理事会

(荒井総務部長)

- ・年間予定表では平成30年7月8日を予定していたが変更予定。日程再調整の上、荒井総務部長より再度報告の予定。

以上